



黒

潮

令和3年3月1日発行

3月号

いちき串木野市立串木野中学校

あいさつについて

校長 中村 憲

三年生の公立高校入試が目前となりました。コロナ禍の中で、細心の注意を払っているにもかかわらず、鹿児島市内の病院でクラスターが発生したり、臨時休校となっている学校が出たりしています。毎日、罹患者が出ないように祈るような気持ちで過ごしております。三年生の保護者の皆様も、自分のせいで我が子に迷惑をかけてはいけなと、日々、細心の注意と自制心をもって生活されていることと思います。改めて三年生のために、学校に関わる全ての皆様に、細心の注意と自制心をもって生活されることのご協力をお願いします。

さて、本日はあいさつについて書きたいと思います。毎朝の生徒の皆さんとの挨拶が、私の元気の源となっていますが、最近、少し改善が必要だなと感じています。

私には苦い経験があります。若いころ赴任した学校で、非常に驚いたことがありました。その地域は、先輩後輩の区別がなく、お互いを名前で呼び合い、会釈とか、あいさつをあまりしないところでした。決してそれが失礼とかではなく、昔からその地域では当たり前のことだと知りましたが、大変戸惑いました。社会に出てから、このままでは本人達が苦労すると思い、あいさつ指導に取り組んだのですが、十分に指導できませんでした。中学校を卒業し、地元の高校を出て、地元を離れ都会に就職する生徒が多いのですが、八月ぐらいまでに三割を超える生徒が離職し、地元に戻ってきました。仕事を辞める理由は一つではなく、いくつかの理由が重なったことなのでしょうが、職場での人間関係が、辞めて帰ってくる大きな理由となっていました。

担任をしたW君もその一人でした。母子家庭で経済的に苦労していましたが、明るくひょうきんで、足が速く、どの運動も良くできて、クラスの人気者でした。つい軽率な行動をし、話をすることの多い生徒でしたが、高校を卒業し、就職が決まったと中学校に挨拶に来てくれました。大阪に行って、しっかり仕事をして、経済的に苦労している母親を助けてあげたいと話す彼に、成長したなと大変うれしく思ったことを覚えています。しかしながら、三か月を過ぎた頃、仕事を辞めて帰ってきたと聞きました。彼のところに行くと、話しを聞くと、同僚や上司と関係が悪くなり、辞めて帰ってきたということでした。就職してしばらくすると、はじめの緊張が解け、つい親しくなり、それまでと同じように先輩や上司と接してしまっただけだと思えます。なんだこいつ生意気だと思われたり、常識が無いと叱られたり、疎外されたりし、つい言わなくてもいいことを言ってしまったり、短気を起こして関係を悪くしてしまったりし、仕事を辞めて帰ってきたようでした。そのW君と、数年前の同窓会で、二十数年ぶりに会うことができました。

部屋の隅にいたのではじめ気付かなかったのですが、会の終盤、彼と話すことができました。私はなつかしさとうれしさで勢いよく話しかけたのですが、彼は元気がありません。仕事は何をしているのか聞くと、季節工で今は山の管理をしているとのことでした。手は傷だらけで、ずいぶん老けて見えました。若い頃結婚したのですが、離婚して一人だとのこと。お母さんのことを聞くと、今も一緒に暮らしているとのことでした。会は二次会、三次会と続いたのですが、いつの間にか彼は帰っていませんでした。あの輝いていたW君の面影はなく、彼がすごした二十数年の年月に思いをはせることでした。しっかりと笑顔であいさつが出来て、時と場に応じた言葉遣いができる人は、どんな社会に行っても大事にされます。小学校や中学校で、しっかりとあいさつする習慣が身につけていれば、大人になって就職しても違和感なく対応できます。もし、中学校の時にしっかりとW君にその習慣を身につけてあげられていれば、はじめの就職で躓くことなく、仕事も続けることができ、違った人生になっていたかもしれません。時々彼のことを思い出しては、忸怩たる思いがしています。しっかりとあいさつや会釈が出来ないと、相手はどう思うか分かりません。気付かなかったのかなと思う人もいれば、失礼なやつだなと怒る人もいるかもしれません。誤解されないかと私は心配になります。将来のために、今しっかりとあいさつが出来る習慣を身につけてもらいたいと思います。



携帯電話 (スマホ) を今一度考える

社会に急速に普及している携帯電話は、それ自体大変利便性の高い道具です。しかし、その使用には、大きな問題も存在していることを子どもと一緒に考えてみましょう。



① 携帯電話を子どもに持たせる必要が本当にあるのでしょうか？

- ・ 子どもの理屈に負けていませんか？
 - ・ 子どもに携帯電話を使用させる目的は何でしょうか？
 - ・ 持たせることで、生活の「安全」が本当に確保されるのでしょうか？
 - ・ 携帯電話が、大事な人間形成期に悪い影響を与えていないでしょうか？
- ※ 携帯電話を与えられるのは保護者だけです。責任をもちましょう。
- ※ どんなトラブルが起きているのでしょうか？
- ※ トラブルは家庭の責任です。

② わが家のルールを作りましょう！

親子で十分話し合い、お互いに責任をもち、「ルール」を守り、携帯電話を使うことで取り返しのつかないトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

受験生 ラストスパート!!

3月9日(火)・10日(水)は、公立高校の入学学力検査が実施されます。本校からは、70人が受検します。今までの自分の学習に自信をもって、テスト終了のチャイムが鳴るまで気を抜かずに精一杯取り組みましょう。4月からは、楽しい高校生活が待っていますよ。



さて、公立高校合格者発表〔今年度は、令和3年3月17日(水)〕についてお知らせします。(仕組みは毎年同じです。1・2年生も知っておいてください。)高校が合格者を発表するのは11時00分です。しかし、中学校(校長)には9時00分以降に高校から不合格者の連絡があります。受検者のいる高校すべての分を中学校で集約して、中学校(学級担任)から不合格になった生徒の保護者に10時00分~11時00分に電話連絡します。この時間に学級担任から電話連絡がなかったら合格ですので、11時00分、高校から合格者として発表されます。

春の祭典出演(2年3組)

1月23日(土)、「鹿児島県中学校音楽コンクール『春の祭典』」の審査が行われ、本校から2年3組の生徒たちの合唱を応募しました。

この「春の祭典」、学級単位で出演する県レベルの合唱コンクールは貴重な取り組みで全国的にも注目されており、例年は、県内から多数の学校(学級)が出演しております。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で録音審査になり、宝山ホールステージに立つことも、他校のすばらしい合唱を聴くこともできませんでした。

そんな中、2年3組の生徒たちは、

さんの指揮、

さんのピアノ伴奏のもと、堂々と「僕らの奇跡」を合唱し、歌っている生徒たちの楽しさ・喜びが伝わる感動的なものでした。

2年3組の生徒の皆さん、これまでの努力と今回の出演を、今後の学校生活に生かしていきましょう。



生徒の活躍の足跡

- ◎ 第5回南さつま市「日新公いろは歌」短歌大会
- | | | |
|----|------|------|
| 佳作 | (1年) | (3年) |
|----|------|------|

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため多くの学校行事等を縮小・中止して実施しなければならなかった令和2年度も、まもなく卒業式・修了式を迎えようとしています。

学校だよりも今年度最後の発行となります。これまでの学校教育活動にご支援・ご協力をいただきましたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、記事や情報の提供、貴重なご意見や感想をお寄せいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

来年度も、学校や子どもたちのようすをお知らせするとともに、魅力ある学校だよりの編集を心がけていきたいと考えております。来年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。